



「自己肯定感」を育む

校長 井之上 良一

恒例の幼小中校区合同運動会が間近に迫ってまいりました。残念ながら、今年の運動会は新型コロナウイルス感染拡大防止のために地域種目を実施せず、午前中のみ開催となります。また、参観者につきましても保護者と祖父母に限定させていただくことになりました。現下の新型コロナウイルスの感染拡大状況に鑑み、今回の対応への御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

当日は天候に恵まれ、子どもたちが練習の成果を存分に発揮して、心に残る運動会となるよう残された練習や準備に万全を期したいと考えているところです。

さて、今回は、子どもたちの自信や意欲に深く関係する「自己肯定感」を育むということについて考えてみたいと思います。

「自己肯定感」は、今日の子どもや若者の問題とかかわってしばしば使われている言葉です。この言葉は、必ずしも明確に規定されているわけではありませんが、「自分を認めている、自分を大切に思っているなど、自分を好意的にとらえる感情」のことを指しています。この感情が高まると、自分に自信が生まれ、積極的に自分を表現し、人とかかわることができ、「自己肯定感」が高まることは、自分だけでなく他人を大切にすることにもつながり、良好な人間関係をつくることへとつながっていきます。また、ストレスに耐える力が高まり、困難に立ち向かう力が強くなっていきます。このように「自己肯定感」は、子どもたちが学校生活や社会生活を営む上で極めて大切な感情だということができます。

実は、毎年行われている全国学力・学習状況調査の質問調査の中にも「自己肯定感」にかかわる質問項目があります。その設問と結果は下表に示したとおりです。この調査結果からは、本校生徒の「自己肯定感」がおおむね良好な状況にあるのではないかと推察されます。



小規模校である本校においては、教師や地域の方々から声をかけられたり、励まされたりする機会が比較的多いものと思われます。このことは「自己肯定感」を育てていく上で大切なポイントになっているような気がします。

一方、小規模校の場合、勉強や運動以外の個性が認められにくい、あるいは勉強や運動の序列が固定化されてしまいがちであるといった側面があります。本校においては、このような課題を生徒たちが克服し、多くの生徒が自分の良さを伸び伸びと発揮し、相互に認め合っているのかもしれない。

「自己肯定感」を育むポイントの一つが言葉かけにあることは前述のとおりですが、思春期の時期にある生徒たちは他者の言動に非常に敏感です。実際、親や教師、友人などの言葉一つで自信や存在感を得られることがありますし、逆に傷ついてしまうこともしばしばです。また、発せられた言葉が心に寄り添っている言葉なのかどうかを判断する力、すなわち言葉の裏側について考える力も身に付けてきつつあります。簡単なことではありませんが、今の時期は、言葉一つ一つを大切にしていける必要があります。

では、具体的にどうすれば、子どもたちの「自己肯定感」をよりよく育むことができるのでしょうか。ある心療内科の医師によると、三つのことを心がける必要があるとのこと。参考になりますので引用してみます。

① 「話をよく聴く」

子どもの話を後回しにしていますか。この後回しが、子どもは「大切にされていない」、「自分に心を向けてくれない」と感じ、これが繰り返されると「自分を認めてくれない」という気持ちになります。聴くという字は、「耳と目と心」で構成されています。じっくりと話を聴くことによって、「大切にされている」、「分かってくれている」と感じ、自己肯定感を形成する基礎がつけられます。

② 「子どもの頑張りを認め、ねぎらう」

子どもの失敗を責めず、失敗を「成長のためのこやし」ととらえ、忍耐強く見守ることが大切です。達成感を味わうことは自己満足だけではなく、周りが喜んでくれることを学ぶ機会でもあります。達成できたことは、自信になり、自分を価値ある人間として自己肯定感を育むことになります。

③ 「『ありがとう』を伝える」

『ありがとう』は、「役に立てた」、「自分のやったことは意味があった」という思いを高めるだけでなく、「ありがとう」と言ってくれたやさしい笑顔に子どもたちは幸せや喜びを感じます。

本日（21日）行われた生徒集会で、生徒会本部役員がいじめ防止の標語について発表するとともに「リフレーミング」について紹介してくれました。「リフレーミング」とは、言葉を楽観的あるいは肯定的に受け止めて、自分や相手の生き方を健全でポジティブなものにしていくという考え方や手法のことです。今日の発表は、パワーポイント（文字や写真などを取り入れたスライド）を使ったプレゼンの中に双方向的なやり取りもありました。何よりも生徒会役員が今回の企画に自発的に取り組んだことに感心しています。今回の取組は、お互いの人間関係をより温かいものにしていくことを目指していますが、ひいては「自己肯定感」を高めていくことにもつながっていくことでしょう。

「自己肯定感」とは内面の心の働きであり、一朝一夕に育てることができるものではありませんが、子どもたちの自信と意欲にあふれた笑顔をたくさん見ることができるよう、今後とも惜しみない努力をして育てていきたいものだと思います。

【全国学力・学習状況調査「質問紙調査」の結果】（3年生を対象に実施。令和2年度は中止）

質問事項		自分には、よいところがあると思いますか。(%)				
選択肢		あてはまる				
区分		あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
令和元年度	本校	25.0	75.0	0	0	0
	全国	29.0	45.1	18.5	7.3	0.1
令和3年度	本校	80.0	0	20.0	0	0
	全国	34.5	41.7	16.6	7.1	0.1

第72回土橋幼小中校区合同運動会に向けて

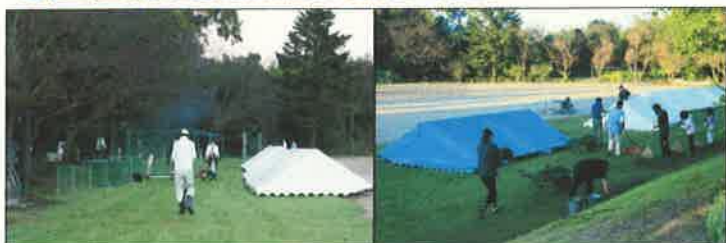


新型コロナウイルス感染症対策の中で、昨年に引き続き違う形で開催される運動会。「堅忍不拔～つかみとれ勝利への道 光り輝く未来を～」というスローガンを掲げ、生徒たちは運動会に向けて一生懸命練習に取り組んでいます。

夏季休業中から部活の練習などを通して鍛えてきた心身はとてたくましく、小学生や幼稚園生には頼れる存在として映っていることでしょう。

当日の勇姿を地域の方々にお目かけられないのは残念ですが、何らかの形で発信できたらと考えております。

校区合同愛校作業(9月19日)



延期しておりました校区合同愛校作業を19日(日)に実施しました。今年度は新型コロナウイルス感染症防止のために、下土橋自治会の方々に30分間、その後保護者と生徒に30分間作業をして頂きました。

短い時間でしたが、たくさんの方に参加して頂き、大変きれいなグラウンドに整備されました。御協力ありがとうございました。

おめでとうございます

第1回日本漢字能力検定

- 3級合格 3年 中窪 怜さん
- 4級合格 3年 塩向 史菜さん
- 3年 井手上結羽さん
- 2年 林 優杏さん
- 2年 宮下 瑠衣さん
- 6級合格 1年 大山 竜輝さん
- 1年 馬場園緩那さん
- 1年 山田 希竜さん
- 7級合格 1年 稲留 伊蔵さん

令和3年度鹿児島ジュニア検定

- 合格 2年 有村 英竜さん
- 2年 林 優杏さん
- 2年 松元 優さん
- 2年 宮下 瑠衣さん

第64回鹿児島県児童生徒作文

コンクール日置市審査会

- 入選 3年 塩向 史菜さん, 尾堂 里玖さん
- 2年 林 優杏さん, 宮下 瑠衣さん
- 1年 馬場園緩那さん, 山田 希竜さん

第58回南日本硬筆展

- 推薦 3年 中窪 怜さん
- 銀賞 3年 井手上結羽さん, 尾堂 里玖さん
- 3年 佐野 心春さん, 塩向 史菜さん
- 3年 新山せせらさん
- 2年 林 優杏さん, 宮下 瑠衣さん
- 1年 大山 竜輝さん, 山田 希竜さん
- 銅賞 2年 松元 優さん
- 1年 稲留 伊蔵さん, 馬場園緩那さん

いじめ調査結果について

9月上旬にいじめの実態アンケートや学校楽しいーとを使っていじめ問題について調査を行いました。

結果としていじめにつながる事象はありませんでしたが、学校が気付かないところでいじめ問題が起きていることがあるかもしれません。

御家庭や地域の中で気になることがありましたら、遠慮なく学校にお知らせいただければ幸いです。また、保護者におかれましては、特にスマートフォンやタブレット端末等によるやりとりにも今後も気を付けてくださるようよろしくお願い致します。

日	曜	10月の主な行事予定
1	金	おひさまあいさつの日
6	水	生徒会立会演説会・選挙
8	金	英語検定
9	土	土曜授業(避難訓練)
12	火	第2回学校運営協議会(中学校会場)
13	水	地区新人総体(15日予備日)
15	金	学級専門部会, 学校専門部会
18	月	中間テスト(～19日)
19	火	代議員会
20	水	巡回図書
21	木	生徒総会
22	金	保健タイム(いのちふれあい体験)
25	月	緑化活動(花の仮植)
29	金	巡回図書 文化祭予行

※例年実施しておりますPTA行事の小中妙円寺詣り遠行は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、中止することといたしました。なお、個人での参加は感染症対策や熱中症予防に十分気を付けて行ってください。

お知らせとお願い

9月26日は合同運動会を実施する予定ですが、小学校、中学校、地区公民館で協議した結果、地域種目を実施せず、午前みの開催となりました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染防止や熱中症予防に万全を期すために、参観者を園児・児童生徒の保護者と祖父母に限定し、事前に把握する予定です。

地域の皆様には、大変心苦しいですが、御理解頂き、運動会への参加を御遠慮いただきますようよろしくお願い致します。